

2017年（平成29年） 山のトイレを考える会 活動報告

山のトイレを考える会

1. フォーラム案内、ニュースレターを送付（2017年1月17日）

第18回山のトイレフォーラム案内とNO.18ニュースレターを会員及び関連団体へ約400通送付しました。
2. 日本山岳遺産サミットに出席（2017年2月25日）

昨年、山と溪谷社の日本山岳遺産に美瑛富士が認定されました。東京で日本山岳遺産サミットが開催され、当会から岩村代表と仲俣事務局長が出席しました。約70名の参加者のもとで仲俣事務局長が美瑛富士のトイレ問題への取り組みについて発表しました。
3. 平成29年度定期総会の開催（2017年3月11日）

第18回フォーラム開催日に定期総会を開催しました。平成28年度事業報告、会計報告、平成29年度事業計画案、予算案、運営委員改選案について承認を受けました。
4. 第18回山のトイレフォーラムを開催（2017年3月11日）

第18回山のトイレフォーラムが札幌エルプラザ・環境研修室1・2で、52名の参加者を迎えて開催しました。テーマは「お知恵拝借～携帯トイレ促進への道」です。発表は次の3テーマでした。

 - （1）美瑛富士携帯トイレシステム試行的導入・2年目の報告：
東川自然保護官事務所 石田美慧氏
 - （2）トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト始動：十勝総合振興局 牛嶋あすみ氏
 - （3）黒岳トイレ運用状況及び今後の改善について：上川総合振興局 佐藤公一氏

環境省の美瑛富士アンケート調査（212件）では、携帯トイレの所持率約64%、携帯トイレ利用促進施策の認知度は約70%でした。

議事要旨とフォーラム資料集はホームページに掲載されていますのでご覧ください。
5. 美瑛富士携帯トイレ利用普及に向けた勉強会に出席（2017年3月24日）

環境省が白金温泉、吹上温泉、十勝岳温泉関係者を対象に美瑛富士における携帯トイレの利用促進について協力を呼びかける勉強会を美瑛町国民保養センターで開催しました。

当会から仲俣事務局長が出席。当会の活動内容と美瑛富士取り組みについて発表しました。
6. ホームページのリニューアル（2017年6月1日）

当会のホームページを17年振りにリニューアルしました。特にフォーラム資料集の膨大な報文を山域別に分類して検索し易くしました。

7. 啓発ツール類の印刷について (2017年6月～7月)

山のトイレマップ5,000部と山のトイレマナーガイドを3,000部印刷しました。

8. トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトに参加協力

プロジェクトは4月に設立され、当会も構成団体(事務局は十勝総合振興局)に参加しました。プロジェクトの会議は3回開催され、いずれも小枝副代表が参加しました。

また、プロジェクト活動の一環であるトムラウシ南沼でのアンケート調査は構成団体で分担しています。7月29日～30日、小枝副代表と仲俣事務局長が実施しました。

9. 大雪山国立公園における携帯トイレの利用促進施策実施

(1) 美瑛富士避難小屋に無料の携帯トイレを配備して、携帯トイレを忘れた人に使用してもらう施策を実施しました。当会で150個購入、108個が使用されました。

(2) 大雪・十勝連峰を縦走する登山者の中継基地となる白雲岳避難小屋に携帯トイレを配備、所持していない登山者に提供(協力金)する施策を実施しました。当会で250個を提供しましたが、所持している登山者が多く、配布したのは23個にとどまりました。

(3) 旭岳ロープウェイ姿見駅で、縦走登山者に対し携帯トイレの所持を呼びかける施策を実施しました。東川町大雪山国立公園保護協会から登山者へのレクチャーを受託しているNPO法人大雪山自然学校に啓発用のパネルを作成していただきました。

夏期シーズン、約4,500回レクチャーの中で携帯トイレの所持を呼びかけていただきました。姿見駅の携帯トイレ販売数は今年の倍以上の231個でした。

10. 美瑛富士の協定書締結 (2017年6月23日)

上川中部森林管理署と環境省上川自然保護官事務所、美瑛富士トイレ管理連絡会とで「美瑛富士における携帯トイレブースの設置及び調査に関する協定書」を締結しました。

締結式は6月23日、上川中部森林管理署にて行いました。この取組に携わる3者が、携帯トイレブースの設置及び調査を相互に連携協力して一層円滑に進めるための協定書です。美瑛トイレ管理連絡会事務局として仲俣事務局長が出席しました。

当日は、NHKのほか北海道新聞、朝日新聞から取材を受け、報道されました。

11. 美瑛富士携帯トイレブース設置と点検パトロールの実施 (2017年6月25日～9月24日)

次のとおり仮設携帯トイレブースの設置、山岳団体による点検パトロールを実施しました。なお、白金温泉公衆トイレと十勝岳温泉登山口にも美瑛町と上富良野町の協力を得て、回収ボックスの設置と使用済み携帯トイレの処分をしていただきました。

また、昨年と同様9月18日に台風で携帯トイレブースが倒壊しました。

- ・ 6月25日（日）…仮設携帯トイレブースの設置、豪雨のため登山口で中止：11名
（※環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等）
- ・ 6月26日（月）…仮設携帯トイレブース設置：4名（環境省・美瑛山岳会）
- ・ 7月 9日（日）…白老山岳会：7名
- ・ 7月23日（日）…大雪山国立公園パークボランティア連絡会：6名
- ・ 7月29日（土）…札幌山岳連盟：4名
- ・ 8月 6日（日）…北海道山岳連盟：6名
- ・ 8月20日（日）…山のトイレを考える会：5名
- ・ 8月27日（日）…道北地区勤労者山岳連盟：5名
- ・ 9月 3日（日）…道央地区勤労者山岳連盟：9名
- ・ 9月13日（水）…北海道山岳ガイド協会：2名
- ・ 9月17日（日）…台風のため中止・日本山岳会北海道支部
- ・ 9月24日（日）…仮設携帯トイレブース撤収：8名（※に同じ） のべ67名

1 2. 2017全道一斉山のトイレデー実施（2017年9月3日）

北海道の28箇所の登山口で、山のトイレマナー袋やマナーガイドを配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。今回で17回目です。

参加者は73名。トイレマップ136部、マナーガイド306部、マナーカード33枚、マナー袋376袋を配布することができました。

1 3. ニセコ羊蹄山岳会の山トイレ勉強会（2017年10月19日）

山トイレ勉強会の講師派遣要請があり、小枝副代表と仲俣事務局長が講師を務めました。

1 4. 環境省との意見交換会の実施（2017年12月18日）

環境省北海道地方環境事務所と美瑛富士トイレ管理連絡会とで意見交換会を実施しました。環境省から2名、美瑛富士トイレ管理連絡会から10名（北海道山岳連盟、札幌山岳連盟、道央地区勤労者山岳連盟、日本山岳会北海道支部、北海道山岳ガイド協会、山のトイレを考える会）が参加しました。

1 5. 北海道地方環境事務所主催の会議に出席

環境省北海道地方環境事務所主催の「表大雪地域登山道情報交換会」「東大雪地域登山道情報交換会」は春季と冬季のそれぞれ2回開催されました。表大雪の春季と冬季は仲俣事務局長、東大雪の春季は仲俣事務局長、冬季は小枝副代表が出席しました。

会議では山のトイレの現状や当会の活動を報告し協力をお願いしました。

（以 上）